

くまきよしき

市政レポート

第4号

- 9月定例会報告！
- 4回目の一般質問！注目トピック
ーもっと移住を伸ばす政策を！ー

高岡市議会議員

熊木義城

くまき

よしき

27歳

成美小、志貴野中、高岡南高、立命館大卒
株式会社パソナグループ、
京都市議会議員秘書を経て
高岡市議会議員選挙に当選。
現在1期目。会派「高岡愛」所属。

9月議会！くまきよしきの一般質問！「もっと移住促進を貪欲に！」

今回の質問のテーマは「移住政策」に絞って聞きました。といいますのも、高岡市に移住を検討している方や、同級生をはじめ若い世代の方から、「〇〇市にはこういう移住支援があるけど、高岡市にはないの？」というお声を複数いただいたことがはじまりです。具体的に調査すると、高岡市独自の支援はあるものの、まだまだ県内他市と比較すると十分でない部分もありました。例えば、住宅支援施策においては、呉西地域では移住者の引越し支援や家賃補助の支援を行っている自治体が多い中、高岡市にはメニューがありません。また、お隣の氷見市の「ぶり奨学プログラム」のように、10年以内にUターンすることで最大約200万の補助を行うというユニークな取り組みも行われています。このようなちょっとした差が、若者や、結婚したての夫婦の移住検討先から、高岡市が消える原因につながります。すべてを充実する！ということは難しいですが、様々な取り組みを参考にしながら、結果につながる移住支援を打ち出し、なんとかして人口を維持する、という強い意志で取り組まなければ、本格的に人口減少が予想される10年後、20年後の高岡市はたちゆかなくなってしまいます。今回は、高岡市として、より柔軟に、より積極的に、移住支援に取り組んでほしい！という思いをぶつけました。

くまきよしきの質問の様子がYouTubeで見られます⇒
QRコードを読み取るか、YouTubeにて「高岡市議会 熊木」で検索！



私は、この人口減少が続いている高岡市の現状に大きな危機感をいだいており、この問題の解決が遅れるほど、未来の高岡に深刻な影響が出ると考えている。このままでは、生産年齢人口の減少に伴って税収が減り、行政サービスが縮小し、また、小売り・飲食や医療などの生活関連サービスの縮小にもつながり、市の利便性が低下する。さらに地域コミュニティが維持できなくなり、地域のみまもりや防災にも影響することでまち全体の魅力がさがり、さらなる人口減、悪循環となることが見込まれる。

すでに本市においては、まちなかの活気がなくなってきたという声が聞かれたり、空き家が年々増加していたり、悪い影響が出てきつつある。

私は、今、手を打てるかどうかで、10年後、20年後の高岡が大きく変わってくると考える。夢と活気のある高岡を未来に残すために、移住者に選ばれる魅力あるまちづくりを今後どのように進めていくのか。

全国の自治体で移住促進に向けた取り組みが進む中、本市が注目を集めるために、「総合的に暮らしやすいまち」であることと、高岡ならではの特色を発信していくことが必要だ。

本市の移住世帯への年齢層は子育て世代の20代、30代が6割を超えることから、この世代をターゲットとして魅力を発信していきたい。充実した診療体制や、今年度からスタートした年齢制限のない「特定不妊治療費助成」などの出産・子育て環境の整ったまちであること、また、ものづくりなどの産業集積が進んでおり、魅力的な仕事に挑戦できるという強みを磨く。また、今後も「こども医療費助成」を15歳から18歳に対象を広げるなどさらなる環境づくりを進め、積極的にPRしていく。

市役所



「高岡愛」チャンネル、ぜひご覧ください！

熊木が所属する高岡市議会のグループ、「高岡愛」では、提案と発信をテーマに、YouTubeにて高岡市政情報をお届けしています。



YouTubeで
「高岡愛チャンネル」と
検索！



そのほかの質問テーマ



子育て支援をさらに広げて！

今回、質問にあたり、移住に関する簡単なアンケート調査を若い世代に行った。すると、若い世代が移住を考える際、子育て支援の充実を重要視していることが再確認できた。高岡市においても、さらなる支援が必要ではないか。

兵庫県明石市や一部の自治体で、「0歳児見守りおむつ定期便」という取り組みがある。子育て世代への経済的な支援になることはもちろん、月に一度、おむつを持って様子を伺うことで、子育て世代が気軽に相談でき、虐待の早期発見にもつながる。本市でも導入を検討しては。

国の事業を利用して、移住者の住宅支援、より充実を！

本市では、住宅を購入する補助はあるが、家賃補助をはじめ賃貸を借りる移住者への支援がない。内閣府の「結婚新生活支援事業」など、国の予算補助制度を活用して、高岡市にはまだない、引っ越しや賃貸契約への支援ができないか。様々な可能性を考え、移住者への住宅支援制度の拡充が必要では。

今回の議会では、移住者のニーズを把握したいと想い、20代～30代の高岡市出身者の方にWEBアンケートを実施して声を集めてみました。短い期間でしたが、すでに高岡市にUターンされた方だけでなく、東京をはじめ全国から60人以上の方に回答いただき、大変参考にさせて頂きました。ご協力いただいた方には心から感謝申し上げます。一般質問の中では、「移住するうえで最も重要視すること」の問いに約60%の方が「子育て支援の充実」と回答いただいたことを盛り込みましたが、個別の意見でも、「子どもひとり出産で1000万」や「プレイパークの建設などこどもに対する投資」など、子育て支援を拡充を訴

える意見が多かったほか、「車がないと生活していけないことが移住のハードルになる」といった意見や、「より魅力的な雇用を」など、交通環境の改善や安定した雇用を求める意見も多くいただきました。お会いしたことがない方からもたくさんの意見と、高岡市を向上させるヒントをいただけたことは今回の大きな収穫でした。たくさんの方のお声、ご意見が私たち議員の力となり、市役所に届けることでよりよい高岡市に変えていける突破口になることを改めて実感しております。引き続き、たくさんの市民の皆様の声をいただけるように、工夫をこらし、精進いたします！

「子育ての孤立防止」の観点からは、生後3か月と生後7か月の際に、こどものいる家庭を訪問する事業を本市独自で行っている。また、経済的支援はその他の支援の充実を図っている。新しい事業については既存事業の役割と費用対効果をふまえ、総合的に判断すべき。議員提案の事業を含め、アンケートや市民ニーズを幅広く検討しながら、施策の充実に努める。

市役所



移住・定住対策は、空き家対策と同様、大変重要な取り組みと認識しており、より効果的な制度となるよう、見直し・拡充について取り組むこととしている。

9月補正予算の概要

今回の9月の議会では、電力・ガス・食料品などの価格高騰による国の物価対策にあわせた事業や、ワクチン接種事業の補正予算を可決しました。

■新型コロナワクチン接種事業

4回目接種、オミクロン株に対応したワクチンの接種体制の整備など

■予防接種事業（インフルエンザ予防接種の助成）

対象：小学生（1人2回まで）中学3年生、妊婦（1人1回まで）

内容：上限3000円の助成（一回につき）、妊婦さんが新たに助成対象に

■住民税非課税世帯等に対する電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

対象：令和4年度住民税非課税世帯、直近の収入が非課税相当に下がった家庭急変世帯

内容：一世帯につき5万円の給付、11月中旬より案内、受付開始、12月より順次振込

日々の活動は
SNSから！



今回のチラシに関するご意見・ご感想など、どんな内容でもお気軽にお問い合わせください！

☎0766-25-3861

✉ y.kumaki26@gmail.com

💻 <http://kumakiyoshiki.com/>

自由民主党「高岡愛」所属 熊木義城

熊木義城瓦版第6号編集・発行人：熊木義城

933-8601 高岡市広小路7-50 高岡市議会

令和4年11月7日発行 討議資料

